

類別 機械器具 32 医療用吸引器
管理医療機器 一般の名称 手動式可搬型吸引器 JMDN 36616010
販売名 レスキューポンプ

【警告】

使用方法

- ◆ご使用前に本書を熟読し、機能テストを実施ください。
- ◆本書に記載されていない方法・用途で、本器を操作・使用しないでください。
- ◆吸引処置についてトレーニングを受けた方のみ、本器をご使用ください。
- ◆使用中・使用后・洗浄時に吸引物からの感染の無いように、注意して取り扱ってください。

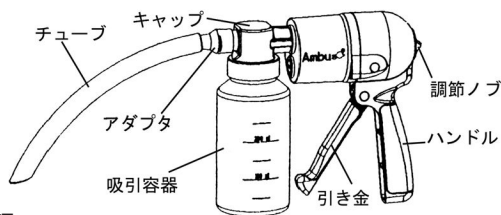
【形状・構造及び原理等】

1. 構成

本体、吸引容器、キャップ、吸引チューブ、アダプタ、添付文書

2. 寸法及び重量

185×70×168mm、260g



3. 原理

ハンドル(引き金)を操作する(搾る)ことによって、ポンプ本体と吸引容器内に陰圧が作り出されます。

【使用目的、効能又は効果】

** 手動式可搬型吸引器、加圧ガス式可搬型吸引器、吸引器用ボトル、唾液吸引チューブの定義から逸脱しない使用目的、効能又は効果の範囲で使用される装置です。

具体的には、手又は足で作動させ、液体または粒状物質の吸引等の治療に用いる陰圧を発生させる装置です。搬送中または非常時にも使用できるように設計されています。

【操作方法又は使用方法等】

1. 特性

吸引容器(ディスプレイ): 300mL

最大吸引圧: -450mmHg

吸引圧調整: 100%、50%(オリジナルの吸引圧に対し)

ピークフリーエアフロー: > 20L/分

吸引ポートキャップ外径: 17mm

カテーテル接続部外径: 13mm、6mm

適合規格: EN ISO 10079-2:1996 E, Council Directive 93/42/EEC

2. 組立

- ①患者さんに合ったサイズのチューブを選び、アダプタに接続します。
- ②チューブの付いたアダプタを吸引容器のキャップに接続します。
- ③吸引容器をポンプ本体に接続します。

3. 操作方法

- ①ハンドルの引き金を引くことで、吸引が作動します。
- ②調節ノブを操作することで、吸引圧を調節できます。
- ③引き金をハンドルに向かって引くことで、ポンプ本体内に吸引圧が作られ、液体が吸引容器に吸い込まれます。
- ④容器が一杯になったり、カテーテルが閉塞した場合、引き金が重くなります。
- ⑤吸引が終了したら、チューブをゆっくりと患者さんからはずします。ポンプ本体から容器・キャップ・アダプタ・チューブをはずし、廃棄バックに入れて、適切な方法で廃棄してください。

4. 吸引力の調節

調節ノブを左に90°回転させてください。ノブが水平方向にある時に最大で-450mmHg、90°傾けた垂直方向の場合には最大で-225mmHgとなります。

5. オーバーフロー防止機能

この機能は吸引容器に付いています。容器が一杯になると、この機能が作

動し、吸引をしようとしても引き金の操作ができなくなります(ハンドルを引いても、非常に強い抵抗を感じます)。この場合、容器を空にする、又は別の容器に交換してください。この機能によって、ポンプ本体に吸引物は入りません。
注: ポンプ本体を逆にした場合、オーバーフロー防止機能により、吸引ができなくなります。吸引中に突然抵抗を感じ、吸引容器にまだ余裕がある場合、この機能が働いています。ハンドルと容器の底面が床を向くようにしてください。改善しない場合、容器を外してください。それでも吸引できない場合、上記の注意を参照ください。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- ◆引き金の操作が困難になった場合、吸引経路のいずれかで閉塞しています。閉塞場所が特定され、(カテーテル、アダプタ、キャップなどの)閉塞状態が取り除かれ限り、吸引しないでください。
- ◆本器を廃棄する場合、施設で採用されている適正な感染防止対策を取ってください。
- ◆吸引圧は製造元のアンブ社におけるテスト環境において測定されたものです。使用状況によっては、実際の吸引圧とは異なることがあります。
- ◆ポンプを水や液体に浸さないでください。浸けた場合は交換。
- ◆ポンプ本体が患者さんからの液体によって汚染された場合、交差感染を防ぐため、交換してください。
- ◆付属の吸引チューブ、コネクタだけを使用してください。
- ◆吸引容器のキャップをポンプ本体にしっかりと接続してください。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

環境温度: (保管) -40~+60°C、(使用) -20~+50°C

* 耐用期間: 本体3年[自己認証(製造業者データ)による]
ただし、本添付文書通りに使用及び保管された場合

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

<洗浄・消毒・滅菌・乾燥>

容器・キャップ・アダプタ・チューブは廃棄してください。ポンプ本体の保管前に暖かい石鹼水や中性洗剤や漂白剤などで消毒・乾燥させてください。液には浸さないでください。

<機能テスト>

- ①患者さんに使用する前に、ハンドルの状態を確認します。
- ②コンテナを取り付け、指で吸引口を閉塞します。
- ③引き金を操作し(搾り)、吸引されることを確認します。

<スペアパーツ>

102 03 081 コレクションコンテナセット

102 03 082 キャリングケース

2. 業者による保守点検事項

定期点検は不要です。

【包装】

1式/箱

【主要文献及び文献請求先】

** アイ・エム・アイ株式会社 救急・教育部
住所: 〒110-0014 東京都台東区北の上野1-10-14
TEL: 03-5246-9463
E-mail: support@imimed.co.jp

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者の名称: アイ・エム・アイ株式会社

TEL: 048-988-4411(代)

住所: 〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地3-3-12

** 製造業者名(国名):

製造元: Ambu A/S(アンブ社)(デンマーク)

製造所: Ambu Ltd(アンブ社)(中国)